



事務連絡  
平成 20 年 11 月 14 日

各都道府県衛生主管部（局）  
薬務主管課 御中

厚生労働省医薬食品局審査管理課

生理処理用品製造販売承認申請等に関する通知等の正誤表送付について

「都道府県知事の承認に係る医薬部外品の一部改正について（平成 20 年 3 月 18 日薬食発第 0318005 号厚生労働省医薬食品局長通知）」、「生理処理用品製造販売承認基準について（平成 20 年 3 月 18 日薬食発第 0318008 号厚生労働省医薬食品局長通知）」、「生理処理用品材料規格について（平成 20 年 3 月 18 日薬食審査発第 0318004 号厚生労働省医薬食品局審査管理課長通知）」及び「生理処理用品の製造販売承認申請等に関する質疑応答集（Q & A）について（平成 20 年 3 月 18 日厚生労働省医薬食品局審査管理課事務連絡）」につき、今般、訂正すべき事項があることから、別添のとおり正誤表を送付いたします。

添別

正設表

【薬食発第0318005号】		項目		誤	正
真	行	真	行	誤	正
2	↓ 11 2 委任品目の審査の基本的な考え方	認に係る審査は、同告示及び平成20年3月18日薬食発0318003号医薬食品局長通知	認に係る審査は、同告示及び平成20年3月18日薬食発0318008号医薬食品局長通知	0318008号医薬食品局長通知	正
【薬食発第0318008号】		項目		誤	正
別添1 1	第2 1 12 第2 2. 色素	本品(ただし、固定材を保護する材料を除く。)の質量を正確に量り試料とし、なお、資料質量の60倍の水を加えても試験溶液が採取できないときは、	本品(ただし、固定材を保護する材料を除く。)の質量を正確に量り試料とし、なお、資料質量の60倍の水を加えても試験溶液が採取できないときは、	本品(ただし、固定材を保護する材料を除く。)の質量を正確に量り試料とし、なお、資料質量の60倍の水を加えても試験溶液が採取できないときは、	本品(ただし、固定材を保護する材料を除く。)の質量を正確に量り試料とし、なお、資料質量の60倍の水を加えても試験溶液が採取できないときは、
別添1 1	第2 1 16 第2 2. 色素	本品(ただし、固定剤を保護する材料を含む。)を平らに延ばし、	本品(ただし、固定剤を保護する材料を含む。)を平らに延ばし、	C(%) = 1.5013 ((V <sub>0</sub> -V)/f) × 100	C(%) = 1.5013 ((V <sub>0</sub> -V)/f) × 100
別添1 4	第2 1 13 8. 粘着力 (1)試料の前処理	C(%) = 1.5013 ((V <sub>0</sub> -V)/f) × 100	C(%) = 1.5013 ((V <sub>0</sub> -V)/f) × 100	E: 0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム液のファクター	E: 0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム液のファクター
別添1 6	(3)標準液 ホルムアルdehyド標準液 ア.ホルマリンの標準液	(3)標準液 ホルムアルdehyド標準液 ア.ホルマリンの標準液	(3)標準液 ホルムアルdehyド標準液 ア.ホルマリンの標準液	No. 29 エチレン・酢酸ジニル共重合体(2) 構成成分名 固定材の欄	No. 29 エチレン・酢酸ジニル共重合体(2) 構成成分名 固定材の欄
別添2 2	↓ 6 No. 99 材料或分名の欄	No. 99 材料或分名の欄	No. 99 材料或分名の欄	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂(1)	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂(1)
【薬食発第0318004号】別紙 生理処理用品材料規格】		項目		誤	正
別添1 48	↓ 6 (4)標準品・試薬・試液 エピクロロヒドリン	純度99%以上。	C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O <sub>2</sub> 無色でクロロホルムに似た劇烈臭のある液体で、比重1.1891、沸点117°Cである。純度99%以上。	シリコン油	シリコン油
52	↓ 5 水酸化カルシウム、pH測定用シリコン油	水酸化カルシウム、pH測定用シリコン油	水酸化カルシウム、pH測定用シリコン油	シリコン油	シリコン油
56	↓ 2 (項目の追加挿入)			シリコン油	シリコン油
67	↓ 18 イオウ 定量法	シリコン油	シリコン油	シリコン油	シリコン油
67	↓ 19 イオウ 定量法	シリコン油	シリコン油	シリコン油	シリコン油
68	↓ 2 ウレタン繊維 純度試験 (1)色素	ウレタン繊維 純度試験 (1)色素	ウレタン繊維 純度試験 (1)色素	ウレタン繊維 純度試験 (1)色素	ウレタン繊維 純度試験 (1)色素

頁 行	項目	誤	正
68 ↑ 10	ウレタン繊維 純度試験 (4) 残存イソシアネート 操作条件中のカラム	用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。	用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。
70 ↓ 12	ウレタンフォーム 純度試験 (2) 残存モノマー 操作条件中のカラム	を化学結合させた6 μmのシリカゲルを充填する。	を化学結合させた6 μmのシリカゲルを充填する。
71 ↓ 14	エスチルガム 純度試験 (3) 重金属	40ppm以下(0.05g、第2法、鉛標準液2.0mL)	40ppm以下(0.05g、第2法、鉛標準液2.0mL)
71 ↓ 18	エチレン・アクリル酸エチル共重合体	Ethylenne・Ethyl Acrylate Copolymer (EAA)	Ethylenne・Ethyl Acrylate Copolymer (EAA)
72 ↓ 3	エチレン・アクリル酸共重合体	Ethylenne Acrylic Acid Copolymer (EAA)	Ethylenne Acrylic Acid Copolymer (EAA)
74 ↑ 8	エチレン・酢酸ビニル共重合体エマルション 確認試験	2960～2850cm <sup>-1</sup>	2900～2850cm <sup>-1</sup>
84 ↓ 13	ジベンゾチアジルジスルフィド 確認試験 操作条件中のカラム	332.48)である。 リカゲルを充填する。	332.49)である。 リカゲルを充填する。
84 ↓ 9	ジベンゾチアジルジスルフィド 確認試験 操作条件中のカラム	リカゲルを充填する。	リカゲルを充填する。
86 ↑ 6	水素添加脂肪族芳香族共重合体樹脂 性状	本品は、トルエン、キシレン及びエチルエーテルに溶けやすく、 リカゲルを充填する。	本品は、トルエン、キシレン及びエチルエーテルに溶けやすく、 リカゲルを充填する。
87 ↓ 1	水素添加脂肪族芳香族共重合体樹脂 確認試験	2600cm <sup>-1</sup> 、1746cm <sup>-1</sup> 、1498cm <sup>-1</sup> 、 2600cm <sup>-1</sup> 、1746cm <sup>-1</sup> 、1449cm <sup>-1</sup> 、 マトグラフー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。	2600cm <sup>-1</sup> 、1746cm <sup>-1</sup> 、1449cm <sup>-1</sup> 、 マトグラフー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。
89 ↓ 14	ステレン・エチレン・ブチレン・ステレン・スチレンブロック共重合体 純度試験 (3) スチレン 操作条件中のカラム	ロマトグラフー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。	ロマトグラフー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。
91 ↓ 17	ステレン・エチレン・ブロビレン・ステレンブロック共重合体 純度試験 (3) スチレン 操作条件中のカラム	ロマトグラフー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。	ロマトグラフー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。
92 ↓ 13	ステレン・ブタジエン・ステレンブロック共重合体 確認試験	波数2920cm <sup>-1</sup> 、2850cm <sup>-1</sup> 、1601cm <sup>-1</sup> 、1380cm <sup>-1</sup> 、1260cm <sup>-1</sup> 及び 700cm <sup>-1</sup>	波数2980cm <sup>-1</sup> 、2850cm <sup>-1</sup> 、1600cm <sup>-1</sup> 、1452cm <sup>-1</sup> 、965cm <sup>-1</sup> 、 910cm <sup>-1</sup> 及び700cm <sup>-1</sup>
93 ↓ 18	ステレン・ブタジエン・ステレンブロック共重合体 純度試験 (3) スチレン 操作条件中のカラム	ロマトグラフー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。	ロマトグラフー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。

頁	行	項目	誤	正
94	↑ 6	スチレン・メタクリル酸エステル共重合体液 純度試験 (3)エビクロルヒドリン 操作条件中の分離管	せたものを並塗する。	せたものを並てんする。
98	↑ 9	デンブン・アクリル酸グラフト量合体部分ナトリウム塩 純度試験 (5)アクリル酸 第1法	ル酸のピーク高さ(Hs)を測定するとき	ル酸のピーク高さ(Hs)を測定するとき
103	↓ 8	非晶性プロピレン・ブテンー1共重合体 確認試験	1156cm <sup>-1</sup> 、973cm <sup>-1</sup> 及び730cm <sup>-1</sup> 附近に 1156cm <sup>-1</sup> 、973cm <sup>-1</sup> 及び760cm <sup>-1</sup> 附近に	1156cm <sup>-1</sup> 、973cm <sup>-1</sup> 及び760cm <sup>-1</sup> 附近に
112	↓ 10	ポリビニルアルコール 確認試験 (2)	ウ素試薬1滴を加えて攪和し、 ウ素試薬1滴を加えて混和し、	トリウム液で滴定する(指示薬:フェノールフタレイン試液3滴)。
112	↑ 8	ポリビニルアルコール けん化度	トリウム液で滴定する(指示薬:フェノールフタレイン試液3滴)。	トリウム液で滴定する(指示薬:フェノールフタレイン試液3滴)。
113	↑ 8	ポリプロピレン共重合繊維 確認試験	2950cm <sup>-1</sup> 、2920cm <sup>-1</sup> 、2840cm <sup>-1</sup> 、1455cm <sup>-1</sup> 、1375cm <sup>-1</sup> 、1255cm <sup>-1</sup> 、 1165cm <sup>-1</sup> 、 2950cm <sup>-1</sup> 、2920cm <sup>-1</sup> 、2830cm <sup>-1</sup> 、1455cm <sup>-1</sup> 、1375cm <sup>-1</sup> 、1255cm <sup>-1</sup> 、 1165cm <sup>-1</sup> 、	2950cm <sup>-1</sup> 、2920cm <sup>-1</sup> 、2840cm <sup>-1</sup> 、1455cm <sup>-1</sup> 、1375cm <sup>-1</sup> 、1255cm <sup>-1</sup> 、 1165cm <sup>-1</sup> 、
115	↓ 17	ポリプロピレン繊維 (項目の追加挿入)	比重 0.89～0.94	比重 0.89～0.94
119	↓ 8	木綿 (1)色素 純度試験	本品10gにエタノール100mLを加えて冷浸し、	本品10gにエタノール100mLを加えて冷浸し、
123	↓ 2	C. I. アッシュブルー9 (青色205号)	(青色205号)	(青色1号)
【平成20年3月18日 事務連絡】				
頁	行	項目	誤	正
別添 5	↓ 25	A-12 例1) <製造方法> ②	法範囲外及びその組合せ製品については、	法範囲外及び特殊な製品については、
別添 6	↓ 3	A-12 例2) その1 <製造方法> ②	寸法範囲外及びその組合せ製品については、	寸法範囲外及び特殊な製品については、
別添 6	↓ 29	A-12 例2) その2[連番]002 <製造方法> ②	法範囲外及び特殊な製品については、	法範囲外及び特殊な製品については、

頁 行	項目	誤	正
別添 6 ↑ 2	A-12 例(2) その2【連番】003 <製造方法> ②	法範囲外及びその組合せ製品については、 特殊な製品に於いては、	法範囲外及び特殊な製品については、 特殊な製品に於いては、
別添 8 ↓ 4	A-14 ③重りの設定理由 注8	れることを防ぐため、	れることを防ぐため、
別添 9 ↓ 27	A-18 ③)	組合せのときは、	特殊な製品で組合せのときは、
別表 1 ↓ 8	No.5 酸化亜鉛 構成成分名 表面材の欄	Q	Q